

新教育委員の紹介

山田 喜三郎 氏

日比野敏行委員の任期満了に伴い、新教育委員に山田喜三郎氏が12月24日付けで就任しました。

略 歴

慶応義塾大学経済学部卒業。

昭和42年山田製材有限会社（株）アルボレックスの前身）に入社、昭和61年に同社代表取締役社長、平成2年に社名変更により（株）アルボレックス代表取締役社長、現在に至る。（社）徳島県社会保険協会会長、徳島市教育委員、徳島県中小企業団体中央会副会長を歴任し、現在、（社）徳島経済同友会幹事、（社）徳島県経営者協会理事、徳島県林材業協同組合理事長。

フォトニュース

—小さくてもキラリと光る城西高校神山分校で感動の卒業式—

『教職員が生徒の可能性を信じ、情熱を持って育めば生徒は必ず応えてくれる』

神山分校では、一人ひとりを理解し大切に育てる教育をしています。生徒たちは、自分の可能性を見つけ、農業クラブの“藍青賞”受賞や測量チームの“全国大会優秀賞”獲得などの輝かしい実績を残しました。3月2日、3年生26名が、自信と希望を胸に笑顔で巣立っていきました。



一人ひとりに手渡される卒業証書

シリーズ徳島再発見 身近な文化財

県指定史跡

「ドイツ兵の慰霊碑」

鳴門市大麻町松字丸山26-1ほか

平成19年2月16日県指定

この碑は、映画「バルトの楽園」やベートーベン交響曲第9番の初演の地として、知られる鳴門市のドイツ村公園（板東俘虜収容所跡地）の一角にあります。高さ2mで、本体には、地元の撫養石が、プレートには、御影石が用いられています。正面には慰霊の言葉が、残りの3面には、第1次世界大戦のドイツ兵俘虜のうち、板東に収容された関係部隊の死者11人の名前が刻まれています。帰国が決まったとき、日本で亡くなった仲間の記念碑として、1919（大正8）年に俘虜自身の手によって設計・施工された貴重なものです。

第2次世界大戦後、地元住民によって地道な清掃と慰霊が続けられました。その活動が広く知れわたり、元俘虜との交流や鳴門市とリューネブルグ市との姉妹都市へと発展するなど、現在の日独交流のもとになったという意味でも重要です。



「ドイツ兵の慰霊碑」写真提供 鳴門市教育委員会

お知らせ

障害児教育は特別支援教育に変わります。

平成19年4月から「盲・聾・養護学校」は「特別支援学校」に変わりますが、それぞれの学校名は変わりません。

また、「障害児学級」は「特別支援学級」に変わります。

とくしまの教育

Education of Tokushima

Contents

- 各教育委員からのメッセージ — 1
- いじめ問題の解消に向けて — 2
- 平成18年度学校版環境ISO認定校一覧 — 2
- 平成18年度文部科学大臣優秀教員表彰について — 3
- 優良教職員の表彰について — 3
- 学校紹介・徳島中央高校 — 4
- 学校紹介・鳴門西小学校 — 5
- 平成18年度徳島県藍青賞受賞者一覧 — 6
- 「あわ」人権学習ハンドブックの発刊について — 7
- セクシュアルハラスメント・パワーハラスメントの防止に向けて — 7
- 新教育委員の紹介/徳島再発見 — 8
- フォトニュース/お知らせ — 8



～徳島県教育委員からのメッセージ～

柿内 慎市 委員長



安倍内閣では教育基本法の改正がおこなわれ、教育改革が論議されておりますが、社会から求められているのは、子どもたちの個性をのばし創造性の高い、社会の中でしっかりと義務と権利を遂行できる人材の養成です。これから教育が30年後、50年後の日本の姿を決めることとなります。大きい使命に誇りと自信を持って改革に取り組んでいただきたいと思います。

上田 利治 委員長職務代理者



『一人ひとりを大切に』如何に若者にやる気を起こさせるのか。残念ながら明確な答えはなさそうです。一人ひとり違うからです。しかし、一人ひとりしっかりとコミュニケーションを築くことは、大切な答えの一つです。深く知り合い、認め、ほめる。この手順が大切だと思います。スポーツ界の名コーチの条件は、コミュニケーション能力だと言われますが、教育の場でも同じことが言えそうです。

村澤 普惠 委員長職務代理者



現在の教育現場では、学力向上、生命の安全など、重要な課題が山積しています。どの子にも輝かしい未来があります。生まれてきて良かったと思える社会、良い出会いのできる社会、そんな社会の中で、子どもたちが自分自身の力でしっかりと生き、自分の思い描く未来を実現できるよう、教育に携わる私たちが、それぞれの立場で責任を持って子どもたちを導いて行くことが大切だと思います。

三好 登美子 委員



贈る言葉を三つ。「今日のことは、今日のうちに」生徒指導の極意を授けてくれた大先輩の言葉。「授業こそ、わが生命」全力の授業こそ生徒を納得させられるという鬼先生の言葉。「先輩を見習え」周囲から教えられることの多かった私の体験から。教育は正に生きる力です。子どもたちを育てて欲しいと願っています。

山田 喜三郎 委員



この度教育委員に就任致しました山田です。今年は教育再生スタートの年と位置付けられました。戦後も60年が過ぎ色々な面での歪みが出て来ています。若者一人ひとりこれからの徳島を、又、これからの日本を、担う人材へと育つよう教職員全員で誇りを持って頑張りましょう。

いじめ問題の解消に向けて

昨年、全国各地で児童生徒がいじめにより自らその命を絶つという痛ましい事件が相次いで発生しました。

そこで県教育委員会では、平成18年10月末、県内全ての公立学校の生徒指導担当者等を集めた緊急会議を開催し、いじめ問題への取組の徹底と、各学校における取組の総点検をお願いしました。

また12月8日には、学校、関係機関、PTA関係者等で構成する「いじめ問題対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、いじめ問題へのより効果的な対応策等を検討しました。その議論の中で、教師がいじめについて、「どの子どもにも、どの学校においても起こり得る」ものであることを十分認識し、学校としていじめ問題に関する基本的認識を踏まえた対応が重要であることを確認しました。

今回、プロジェクトチームでは、いじめ問題に対する学校での組織的対応の在り方や具体的事例に基づく指導のポイント、いじめ発見のチェックポイント等をリーフレット「いじめをなくすために」にまとめました。各学校においては、校内研修等で活用いただき全教職員の共通理解を図り、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けた取組の一層の充実をお願いします。



いじめ問題対策プロジェクトチームの会議

いじめ問題に関する基本的認識

1. 「弱いものをいじめることは人間として絶対に許されない」との強い認識を持つこと。
2. いじめられている子どもの立場に立った親身の指導を行うこと。
3. いじめは家庭教育の在り方に大きな関わりを有していること。
4. いじめの問題は、教師の児童生徒観や指導の在り方が問われる問題であること。
5. 家庭・学校・地域社会など全ての関係者がそれぞれの役割を果たし、一体となって真剣に取り組むことが必要であること。

「いじめの問題への取組の徹底について」（平成18年10月19日文科科学省通知）より

平成18年度「学校版環境ISO」認定校一覧

「学校版環境ISO」とは、ISO14001などの環境規格を参考に、子どもたちが自ら目標を立て、成果をチェックする方法で、学校全体でごみの減量やリサイクル、省エネルギーなどに継続的に取り組む活動を推進するものです。平成18年度には、次の39校が新たに認定され、平成16年度から延べ78校となりました。

小学校(23校)	佐古小学校	八万小学校	宮井小学校	渋野小学校
入田小学校	堀江南小学校	板東小学校	千代小学校	大野小学校
橘小学校	伊島小学校	新野東小学校	大谷小学校	重清東小学校
重清北小学校	佐野小学校	浦庄小学校	木沢小学校	日和佐小学校
阿部小学校	宍喰小学校	東光小学校	絵堂小学校	
中学校(14校)	加茂名中学校	入田中学校	北灘中学校	新野中学校
那賀川中学校	羽ノ浦中学校	吉野中学校	木屋平中学校	池田中学校
山城中学校	高浦中学校	由岐中学校阿部分校	上板中学校	一宇中学校
高等学校(2校)	勝浦高等学校	新野高等学校		

平成18年度文部科学大臣優秀教員表彰について

文部科学省は、平成18年度から学校教育に顕著な実績を挙げている教育職員を表彰する制度を設けました。

全国で765名、本県からは8名の方々表彰され2月15日に表彰式が行われました。

被表彰者のお名前と功績の概要は、次のとおりです。

岩佐隆之教諭（那賀町立相生小学校）

児童の考えと発想を大切にした学級経営や教科指導により、児童と保護者からの信頼を得た。

吉田美保子養護教諭（阿波市立伊沢小学校）

歴任校において、保健指導や保健室経営等の実践・研究を行った。

櫻葉みつ子教諭（徳島市富田中学校）

よくわかる授業づくり（英語）に定評があり、意欲ある生徒の育成を行った。

阿部憲作教諭（板野町立板野中学校）

陸上競技の指導者として、技術面や精神面にも配慮し、多くの生徒を四国大会や全国大会に導いた。

川田京子教諭（吉野川市立山川中学校）

長年にわたる人権劇の指導を通して、生徒の人権意識や実践力を高め、よくわかる授業を実践した。

村岡直美教諭（徳島県立川島高等学校）

ノートを活用した個別指導によって家庭学習の習慣化を図り、生徒の積極性を引き出した。

佐藤克人教諭（徳島県立美馬商業高等学校）

生徒指導や陸上競技の指導に努め、全国高校駅伝大会に9年連続出場を果たした。

宮岡輝実養護教諭（徳島県立三好高等学校）

性教育や喫煙防止教育に取り組み、学校不適應等の生徒の個別指導に成果をあげた。

優良教職員の表彰について

平成15年度から、「優秀な教員等の表彰」を実施しておりましたが、平成18年度から、表彰の対象となる功績・被表彰者数を次表のとおり見直しを行い、名称も「優良教職員の表彰」に変更しました。

「優良教職員の表彰」では、さまざまな教育活動の分野から、地道な努力を続けられ、顕著な功績をあげている教職員の方々を、地域性や校種等を踏まえて幅広く表彰いたします。

この表彰制度が、教職員の励みになり、教職員の力量アップ、学校組織の活性化につながるよう期待しています。

	優良教職員の表彰（新）	優秀な教員等の表彰（旧）
表彰の対象となる功績	①学習指導において ②生徒指導等において ③学校体育・学校給食等において ④部活動等において ⑤特別支援教育において ⑥学校運営等において ⑦その他	①学習指導等において ②学校運営等において ③その他
被表彰者数	100名程度	10名程度

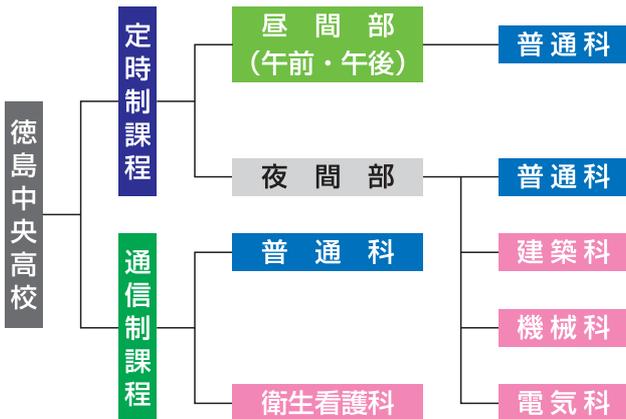


徳島中央高校

この時空を君のものに
～新しい自分探しにチャレンジ～



学校の形態



学校の時間帯

定時制	昼間部午前 1～4校時	昼間部午後 1～4校時	夜間部 1～4校時
通信制	1～4校時	昼休	5～8校時 (日or木)



徳島中央高校は単位制高校です。

- あなたのペースで学習できます。
修得した単位の積み重ねによって卒業できます。
- 3年間で卒業も可能です。
あなたの努力次第で、必要単位を修得すれば、3年で卒業が可能です。
- あなたの努力が単位として認められます。
高等学校卒業程度認定試験に科目合格した単位など

自分にあった学習時間が選べます。

学習時間は課程によって様々です。そのため、それぞれのライフスタイルに合わせた課程を選択できます。

授業料等は優遇されています。

- *1単位につき定時制1,680円、通信制320円(年間)です。
- *働きながらであれば教科書などの補助制度があります。

個性豊かな学校です。

- *制服はありますが、着用(購入)は自由です。
- *様々な学習歴や年齢の生徒が通学しています。

スクールカウンセラー配置校です。

県内の高校で唯一のスクールカウンセラー配置校です。友だちや先生に相談できないことも気楽に相談することができます。もちろん、保護者の方も相談できます。



紹介



「学ぶことが楽しい学校」をスローガンに ～キャリア・理科教育を中心として～



鳴門市鳴門西小学校

本校は、鳴門市の北に位置し、四方を海に囲まれた島の中にあります。ウチノ海総合公園や鳴門教育大学などの施設があり自然散策や運動、文化交流などが盛んに行われています。「学ぶことが楽しい学校」をスローガンに教職員・児童・保護者・地域が一体となって様々な教育活動に取り組んでいます。

■キャリア教育を通して将来に夢がもてる子どもに

子どもに望ましい勤労観や職業観を育成するために3年前より**キャリア教育**に取り組んできました。「体験すること」を基本に、キャリアプログラム（教育課程）の編成や様々な職種の方々をゲストティーチャーとしてお招きしてお話を聞いたり、校区内で職業体験を行ったりしました。なにより子ども一人一人に自信をもたせ、自己表現ができるようにすることを主眼において実践してきました。その研究実践の成果が認められ「文部科学大臣賞」をいただくことができました。



学んだことを文化祭で発表しているところ

■理科教育を通して「考えること」が楽しい子どもに

昨年度より、実験や観察などの体験を十分に取り入れた理科教育に取り組んでいます。「自分なりの考え」をしっかり持ち、友達との意見交換などを通して「自然のすばらしさが分かる心情」や「より確かな考え」を子どもに培おうとしています。

本校には、ビオトープ、学級園、におっ子水族館（塩水魚の飼育）、などがあるほか、校区内には、水尾（にお）と呼ばれる海水路が張り巡らされており、昨年「海のビオトープづくり」をしています。



地域の美化を訴えるエコ看板

■地域や保護者に育まれながら「地域に愛着がもてる」子どもに

環境教育にも力を入れています。地域の自治体の方々の協力で、水尾（にお）にあま藻を植え付けたり、EM団子を投入したりして水質の浄化を図っています。また、海岸や道路のゴミ拾いを行ったり、地域の人に環境美化を訴えるための「**エコ看板**」を設置したりしました。

さらに、学校では、保護者による「読み聞かせ」や「紙芝居」「コンサート」などが定期的に行われる他、地域の人々による俳句の指導などが行われ、子どもたちの「情操教育」に一役かっています。鳴門教育大学からは、「ちょんかけごまの指導」や「留学生との交流」などの学習機会も提供されています。



海のビオトープでのあま藻の植えつけ

今後も、「自分の住んでいる町に愛着のもてるような子ども」を育てるために子どもと共に歩んでいきたいと考えています。

平成18年度徳島県藍青賞受賞者一覧

○地域社会におけるボランティア活動等

〔団体の部〕
城西高校神山分校 農業クラブ
(環境保全活動)

〔個人の部〕
香川 愛 徳島工業高校

○自然体験・勤労体験学習等

〔団体の部〕
小松島西高校 TOKUSHIMA雪花菜工房
(勤労体験学習)

○運動競技

〔団体の部〕
剣道部 女子 那賀川中
// 阿南第一中
男子 徳島文理中
// 鳴門市第一中
男子 // 小松島中
// 羽ノ浦中
新体操部 女子 岩倉中
ソフトボール部 女子 辻高
女子 徳島中
バドミントン部 男子 津田中
バスケットボール部 男子 城ノ内中
陸上部 男子 阿南中
ソフトテニス部 女子 小松島高
ライフル部 女子 城ノ内高
登山部 女子 城北高
射撃部 男子 徳島県国体
少年女子選抜チーム
弓道 徳島県国体
少年女子選抜チーム
バレーボール 徳島県国体
少年女子選抜チーム

〔個人の部〕
陸上 小 山 晶 加茂名南小
三 原 幾 藍住東中
長 谷 川 由 寛 之 郎 //
山 本 拓 千 郎 半田中
堀 原 大 輝 子 //
川 原 大 愛 子 富田中
谷 賀 原 裕 夏 唯 唯 国府中
多 賀 原 下 侑 樹 美馬中
山 岩 川 山 大 輔 唯 唯 鳴門市第二中
秋 木 山 内 利 大 康 賢 太 樹 城ノ内高
ソフトテニス 森 毛 賢 大 樹 唯 唯 城西高
庄 野 真 千 晶 // 入田中
森 賀 賀 千 万 里 江 池田中
弓道 大 鈴 木 智 也 梨 世 徳島文理中
剣道 水 谷 公 世 愛 織 周 香 一 徳島中
バドミントン 遠 湯 表 井 上 浦 畑 上 悠 武 小松島高
ローラースケート 藤 浅 原 上 浦 畑 上 悠 武 城ノ内高
水泳 井 松 大 二 山 下 瀨 米 陽 鴨島商高
カヌー 大 二 山 下 瀨 米 陽 鴨島商高
新体操 山 下 瀨 米 陽 鴨島商高
フェンシング 荒 久 井 高 橋 美 剛 穴吹高
ボクシング 荒 久 井 高 橋 美 剛 穴吹高
ライフル 荒 久 井 高 橋 美 剛 穴吹高
レスリング 荒 久 井 高 橋 美 剛 穴吹高

レスリング 石川裕之 穴吹高
三浦弘典 池田高
ウエイトリフティング 濱岡晃利 鳴門工高
高橋肇 //
佐々木宏明 //

○研究・制作及び表現活動等

〔団体の部〕
マーチングバンド部 国府小
オーケストラ部 徳島中
吹奏楽部 加茂名中
囲碁部 城南高校
美術部 徳島商高
電子機械科 徳島東工高
課題研究第6班 徳島中央高
演劇・ビデオ制作部 徳島文理高校
ディベート部

〔個人の部〕
絵画 元井山瑞伎 穴吹小
濱添竜志 足代小
林賢樹 由岐小
杉田明希 鴨島第一中
中山川紀人 川上小
西山本祥子 鴨島東中
津野朱瑚の里 半田小
林宏樹 穴喰小
美慧 北島南小
//
パソコン 藤本春佳 足代小
古本知也 三好中
濱口尚馬 鴨島小
小島美里 王地小
森本菜暁 徳島商高
住吉川恵介 //
久保和貴 阿南中
稲木稔 林小
前田瑤大 三加茂中
岩崎真紘 山川中
吉岡真介 岩倉中
中川健太 西谷谷中
川田翔太 //
片山真良 鳴教大付属中
伊井真大 城ノ内高
林内大輔 鴨島第一中
池内理菜 水産高
長宗隆 徳島商高
西内奈緒子 名西高
森東佑介 阿南工高

○創意に満ちた教育活動

〔団体の部〕
江原南小学校 (体験学習等)
半田中学校 (防災教育)

○指導者等

池田重政 日本ボーイスカウト
徳島連盟県コミッショナー

人権教育指導者用手引書 「“あわ”人権学習ハンドブック」の発刊について

昨年度から作成を進めておりました人権教育指導者用手引書は「“あわ”人権学習ハンドブック」の名称で、4月当初に各学校・関係機関に配布する予定となっています。“あわ”には、「阿波」「OUR」「AWA……Approach Work Act」の3つの意味合いを込めています。今後の人権教育における積極的な御活用をお願いいたします。

本手引書のポイントをいくつか挙げてみますと、次のようになります。

具体的な事例を盛り込み、解説しています

人権学習を進めるにあたっては、普遍的な視点に立った学習を個別的な視点の学習につなげるとともに、個別的な視点を結び合わせて普遍的な視点へとつなげるなど、有機的な関連を図ることが大切です。また、一つの人権課題の学習の成果を他の人権課題の学習へとつなげていくことも大切です。こうした学習の在り方について、できるだけ具体事例を盛り込み、解説も加えています。

体験的参加型学習を数多く取り入れています

学習者が十分な人権感覚を身につけ、学んだことを態度化・行動化につなげていけるよう、体験的参加型学習の指導事例等を数多く取り入れています。

「知る」「学ぶ」「行動する」の3つのジャンルに分けて編集しています

個人権課題に関する学習を記載したページでは、徳島県人権教育推進方針に盛り込まれたすべての人権課題を網羅しています。その紙面構成としては、「知る」「学ぶ」「行動する」の3つのジャンルに分けて編集しています。「知る」では、人権を取り巻く現状や課題を示し、「学ぶ」では人権課題について学ぶ具体的な学習内容・学習方法等の在り方を示しています。また、「行動する」では、学んだことから態度化・行動化につなげていくための学習の在り方等について記述しています。

各方面からデータや資料、指導事例等を収集しています

全編を通じて、各方面から収集したデータや資料、指導事例等を数多く盛り込んでいます。

「“あわ”人権学習ハンドブック」の使用に際しては、幼児児童生徒の発達段階や実態、地域の実情等を十分に考慮して、ねらいや目標に即した人権学習が展開できるよう、柔軟に応用・発展を図ってください。

セクシュアルハラスメント・パワーハラスメントの防止に向けて

県教育委員会では、セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント防止に向けて、相談窓口及び相談員を設けています（相談員12名のうち9名が女性です。）プライバシーは守りますので、セクハラ等で悩んでいる方は、安心して相談してください。

【相談窓口・相談員配置先】

○市町村立学校の教職員

市町村教育委員会にお問い合わせください。

○県教委事務局・教育機関・県立学校の教職員

教育総務課 ☎ 088-621-3208

福利厚生課 ☎ 088-621-3178

スポーツ健康課 ☎ 088-621-3165

教職員課 ☎ 088-621-3122

学校政策課 ☎ 088-621-3134

